

令和5年度『差別をなくし人権を尊ぶあなたと私のつどい』 総括

令和5年(2023年)11月18日(土)

ひこね市文化プラザ エコーホールにて

テーマ 「SOSを受け止める居場所 み〜つけ」

令和5年(2023年)11月18日(土)に、ひこね市文化プラザ エコーホールにて、「差別をなくし人権を尊ぶあなたと私のつどい」を開催しました。

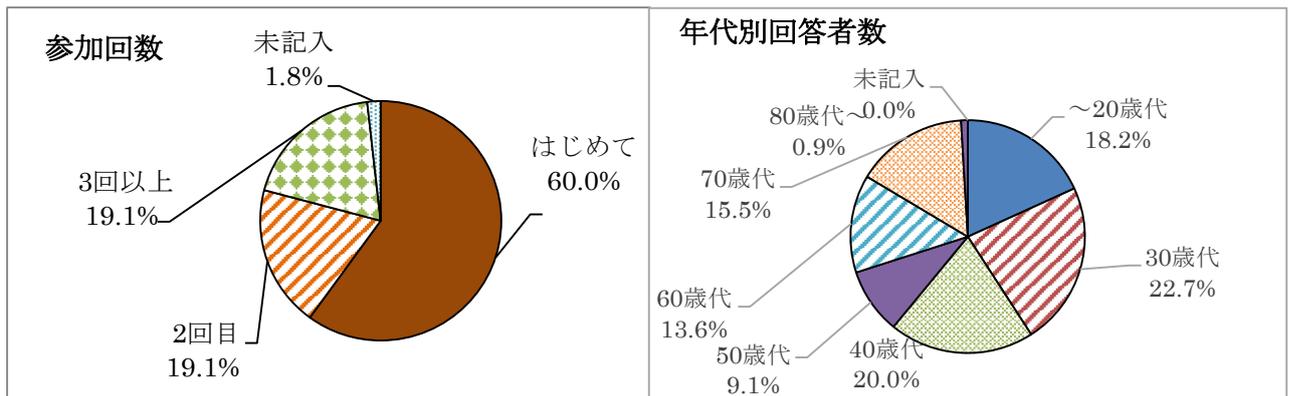
近年では、ひきこもりや児童虐待やヤングケアラーなど、子どもを取り巻く状況の中で、さまざまな人権問題があります。今年度は子どもの人権について学び考える機会としました。

私たちは、自分のおかれている現状を見つめ、人権意識の高揚に努め、家庭、地域、あらゆるところで、視野を広くもち、あらゆる差別を見抜き、自らの研修を深め問題解決のための取り組みをこれからも進めていこうと考えています。人権が尊重される住みよい社会の実現は、みんなの願いです。

当日は、市民をはじめ各種団体や企業などから119名の方が参加され、アンパンマンたいそうの歌を会場の皆さんと歌い、前半では、実行委員会による現地研修での学びの報告を行いました。また後半にはNPO法人Take-Liaison副理事長 北居 理恵さんに講演いただきました。

なお、アンケートによる参加状況は、次のとおりでした。

(アンケート回収率 110人/119人=92.4%)



開会行事の様子



アンパンマンたいそう
会場みなさんと歌う♪

研修報告

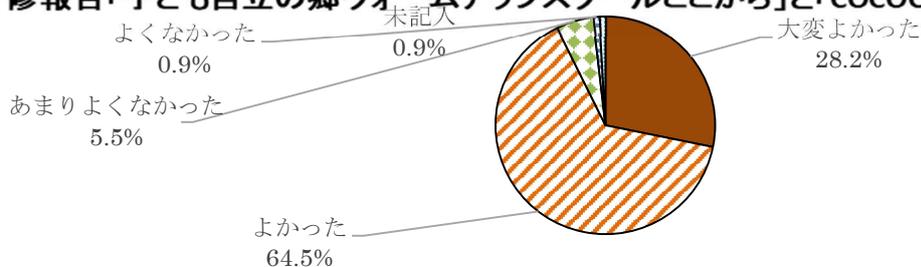
長浜市旧余呉町の廃校になった木造校舎を借り受け「子ども自立の郷ウォームアップスクールここから」を、2006年にNPO法人として設立されました。

公的な機関では救えない不登校児童・生徒や、消極的、元気を失っている子ども達のために週に4泊5日の寄宿生活の中、自然豊かな土地で、子どもたちの元気と自信、生きる勇気を取り戻す活動や若者の自立へ向けたサポートや支援を行っておられます。

様々なことを体験することで、仲間の大切さや助け合いの心、人との出会いを大切に、一人の人間として成長できるよう、社会に出ていくための準備をしています。「ここから」の卒業生で調理師免許を取って、地元余呉の自然で癒しと安らぎの空間古民家カフェ「COCOCAFÉ心風流^{しんぷる}」で働いてる方もおられ、卒業後も頼もしい先輩の姿がありました。



研修報告「子ども自立の郷ウォームアップスクールここから」と「COCOCAFÉ心風流」について



【参加者からの感想】 ※抜粋

○間違ったことがあっても否定しない、やる前から大きな成果をイメージし、自分の思いどおりにならないとやめてしまう…。個々を大事にされ成功体験を繰り返していく事の大切さを学びました。

○学校に行きづらい、自信が持てない子など多様な場所で体験、経験をすることを通して生きていく自信を持ったりやりたいことを見つけられる居場所があるのは、いいことだと感じました。

○近場にこのような場があったことを知り、とても驚きました。虐待やいじめ等の悩みのある子や親にとってもとても良い環境で、自信回復や社会とのつながりが持てる場があると心強く、もっとたくさんの方に伝えていけたら良いと思いました。

○一人ひとりに合った支援を考えられていることがその子の成長に強くつながると感じた。様々な体験をすることによって「生きる力」が身につくと考えられた。

○子どもの自立を支援し、1人1人に合わせたカリキュラムを作る事。何事も体験し、失敗してもそこを問わず次につなげ成功体験にする。そしてそれが自己肯定感を高めるのに大事なことなんだと感じとても良いなと思いました。

○学校に馴染めない子にも居場所がある事を知れました。地域の方との関わりや寄宿生活の中で集団生活の輪に戻れる力を養う事が出来るんだなと思いました。親もよく観察し、辛抱強く子どもの成長を見守る姿勢が大事だなと思いました。

○「子育て 個育て 心育て」毎日3人の子育てにバタバタしている自分の心にとっても響きました。”お姉ちゃんやまわりのお友達は出来るのに”“なんで間違ったり失敗するのか？”イライラして言ってしまうがちですが、“個育て”“心育て”る為にはただ身のまわりの世話をする”子育てだけでなく、親しか出来ない目配り気配りをして何より愛情が大切だと思いました。

講演

演題「だれもが孤独にならないために」

講師 NPO 法人 ていくーりえぞん **Take-Liaison**

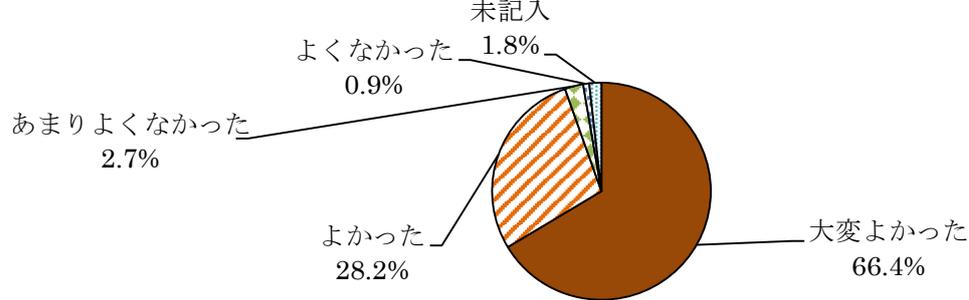
副理事長 北居 理恵 さん



米原市長沢で「子ども食堂」を始められ、2019年からはNPO法人として“子どもと大人のつながりづくり居場所づくり”をテーマに「学校に行きづらい日のフリースペース」や「夜の子どもの居場所トワイライトステイ」や地域のための「コミュニティカフェ」を運営しておられます。地域で寂しい思いをしたり、ひとりで苦しむことがないように助け合っていけ、心がほっとひとやすみできて、心がいきいきと過ごせるきっかけになればと願っております。

「自分は孤独を感じている」と感じる子どもの割合は世界の中で日本が一番多いと近年の調査で示されており、少しでも心かよい合わせ、自分を大切に生きていければと思います。

講演「だれもが孤独にならないために」について



【参加者からの感想】 ※抜粋

○北居さんの行動力に感心しました。地域の中で一人にならないよう、つながりを大切にした取り組みがすごいと感じました。子どもたちが、地域のいろいろな年代の方たちとつながり、時間を過ごしているほんわかさがよかったです。ゲームやSNSなどのつながりより、やはり人と人が会話をし、同じ空間で過ごす大切さがいいなあと感じました。

○「絶対に〇〇はいけない」は危険。孤立はいけないが孤独は志を持てば経験すべき通過点とも言える真摯な活動報告に敬服致します。

○孤独感1位というのはとても衝撃的でした。地域にこんなところがあれば行ってみたいなと思うと思います。みんな同じでなければ窮屈感を感じてる子が多いのかな？コロナ禍でますますそういう状況になっているような気がしました。身近な大人ができることを少しずつ取り組み、広げていくことが大切なんだと思いました。

○具体的な活動をもとに、人とのつながりの大切さを教えていただきました。北居先生が、とてもいきいきとお話くださる姿が印象的でした。なかなかできる活動、取り組みではないですが、今の時代に必要な居場所、心の拠り所です。今後も続けていってくださることを願い、応援しています。

○滋賀県でしかもこんなに彦根に近い場所で、人々が自由に集まれる場所があることを初めて知りました。学校に生きたくない子どもたちが、社会から孤立することのないよう、地域で取り組み、学校や市、県とも連携しながら進めていくことはとても大変なことだと思います。それをされていることにとても尊敬しました。

○実体験や運営されている事をお話されているので、とっても聞きやすく、興味を持ちながらお話を聞かせてもらいました。子どもと大人の居場所、ふらっと寄れる場所地域とのコミュニケーションが取れる素敵な場所だなと思いました。現代の子どもたちが持っている悩みも聞いたり、スマホ通じて交流、年齢とわず関わる事も素敵だなと実感しました。

○人が人といえることは、それだけで尊い。スマホやコロナ禍等人とのつながりづくりにしんどさを抱えている子どもたちは多いと感じる。その中で「人が人といえること」でぬくもりや体温を感じる居場所の必要性を強く感じた。

○近所にこのような場があると、子どもはとても心休まる、たわいもなく話しながら、ボソッと悩みを言えたり、一生思い出に残ったり、さりげなく、子どもの命、孤独を救っている気がして、とてもいいなと思った。自分もこのような形で子どもたちと関わりたいと感じた。